



■発行

社会福祉法人

九重町社会福祉協議会

九重町大字後野上17-1

TEL 0973-76-2500(代)

0973-76-3267

FAX 0973-76-3835

Eメール: smile9@oct-net.ne.jp

ホームページ: [九重町社会福祉協議会](#)

第109号

ふれあい

社会福祉だより

「チーム東飯田」地域の絆で、誰一人取り残さない東飯田に！！



東飯田地区の取り組み

人がつながる
東飯田

公民館を拠点に、各団体がタッグを組み、安心・安全にいつまでも、東飯田で住み続けられる地域づくりを目指しています。



地域食堂かたろうへ
会長
江隈洋子さん

食・遊び・語らいを通してみんながお互いに「元気やったね」と言い合える。そんな安心できる場所であることを願って開催を続けています。

高齢者等支援が必要な方の困りを同じ地域に住む住民同士で支え合う「チーム東飯田」。誰一人取り残さない。支援する方もされる方もみんなの笑顔が地域に広がる。



くらしのサポートセンター
会長
佐藤明郎さん

地域住民のみなさんの防災力向上のため防災体験やマップ作りについて避難訓練の支援などを行っています。また、会員39名のスキルアップの為、様々な研修に参加しています。

東飯田まちづくり協議会では、「つーだらだった祭り」を始め「みんなの旗」運動「ブロック別区長懇談会」など、今、求められている地域の絆と高齢者の安心・安全の地域づくりに取り組んでいます。

一人暮らし高齢者、障がいのある方を中心に訪問活動をしています。信頼を得て、何でも話してもらい訪問する事が喜びや癒しになればいいと思っています。



防災士会
会長
小幡龍也さん

地域の方とのつながりを大切にするために公民館に来られた方にはこちらから積極的に話しかけるようにしています。



まちづくり協議会
会長
小野昇さん

地域内の団体皆さんへの支援や地域が盛り上がるような活動を考え、みなさんを笑顔でつなげられるよう日々精進しています。



民生委員児童委員
会長
酒井利幸さん

公民館主事
切木俊介さん



まちづくり協議会
事務局 小幡邦代さん



野上地区の取り組み

野上地区では支え合いマップづくりに向けた行政区ごとの説明会が活発に行われています。中央五や北区では、マップづくりを契機として、避難班と連絡網を作りました。



北区の支え合いマップづくりの様子

下尾本地区はマップづくりで決めた通りに動いてみる避難行動訓練を実施。「せんと気づかないことがいっぱいある」「夕方方の移動は目の見えにくい人、足取りが不安定な人には危険。昼間のうちに動くことが大切だ」とよくわかった(吉武区長)という気づきを参加者で共有できました。

飯田地区の取り組み

マップづくり



無田上の様子

無田上、無田中・無田中一、無田下、狭間、北方下の5ヶ所でマップづくりを行いました。

飯田ふれあい夢食堂



毎月50~60名の参加があり、多世代交流でなじみの関係ができています。

くらサポ飯田



依頼の下見に来ました。活動会員も30名を超え徐々に活動も広がってきました。

寄り合いカフェ



下畑の時松行男さんの庭先で行い、久しぶりの地域とのつながりに笑顔がたくさんあふれました。

サロン



日向・日向下・湯坪下地区

「サロンちゃ何をするんね?」ということで、まずはおためしでやってみました。「これなら毎月したいね」の声で2ヶ所で立ち上がりました。



筋湯地区

活気付く飯田の支え合い活動

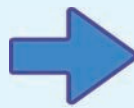
南山田地区の取り組み

頼れる人がいなくて困っている方はいませんか?

くらサポ南が活動員さんにつなぎます



高齢の一人暮らしで家族も遠方にいます。誰か草刈りをしてくれるような人はいますか?



はい。くらしのサポートセンター南です。活動員さんと調整しますね。日程が決まったらご連絡します。

くらしのサポートセンター南へお電話ください

電話：78-8801



日程が決まったら作業開始です

活動員さんを募集しています!



くらサポ南では地域のちょっとした困りごとと一緒に助けたい方々を募集しています。同じ地域に住む仲間として、お互い様の気持ちで活動してみませんか? ちょっとの手助けが地域の生活を支える大きな力となります。

こここのえ介護事業センター

《お問い合わせ》
☎76-3267

収穫音楽祭を開催しました

毎年この時期になると、「里の秋」や「村祭り」など秋の歌で季節を感じています。村祭りの歌では、デイサービスで作った神輿を担いで大賑わいでした。

「昔はどうじゃった」「何を作っていた」など、稲刈りや農作物を収穫していた頃を回想し楽しまれています。

10月7日には小倉神社の神輿が、デイサービスを訪問してくれました。デイサービスをご利用のみなさんも楽しみにされており、お神輿の下を通ると手を合わせ喜ばれていました。小倉神社関係者の皆様、ありがとうございます。



■料理教室(小学生)
4月ぶりの料理教室を開催し、味噌玉やかぼちゃ入りのお月見団子を作りました。大豆から豆腐ができる過程に興味津々の子どもたち。搾りたての豆乳は甘くて美味！

9月の活動

こここのえ子育て交流センター

こここのえ子育て交流センター ☎73-2666 / FAX73-2670

＜交流センターで貸し出しています＞

- 本 3928冊
- DVD 100枚
- おもちゃ 193個

運動会(わくわく広場)

たくさんのお親子が参加しました。アンパンマンに変身したり、玉入れ、パン食い競争など……笑いあり、涙ありのにぎやかな運動会でした。



よーいドン！はいはいスタート、タッチでゴール♪

※広報ではお伝えできていない事業の様子なども館内に写真を掲示しています。ぜひ遊びに来てご覧になってください。



緊急医療情報キット (命のバトン)

今、緊急時や災害時に、命を守る迅速な行動につながる「命のバトン」を活用した近隣や行政区ごとの取り組みが見直されています。

命のバトンとは、最短時間で医療機関(または救急搬送)になくため、かかりつけ医や服薬状況、緊急連絡先などの病院の受け入れや受診受付に必要な情報が記入されたシートを容器に入れ、冷蔵庫で保管しておくものです。「もしかしたら……」と異変に気づき、駆け付けた近隣の方などが、筒のまま救急隊や病院窓口を手渡すことで、一早く必要な医療を受けることが期待できます。

ご存じですか？

緊急医療情報キット (命のバトン) の活用法



命のバトンの活用場面

- ・バトンの中を見て、緊急連絡先を確認して連絡する。(駆けつけた人、気づいた人が)
- ・バトンそのまま救急隊に渡す。
- ・医療機関に持って行き受付に渡す。
(自分で、または気付いた隣人、親戚が)
- ・避難所へ持っていき、必要な情報を確認してもらう。
(持病、アレルギー等配慮を要すこと)

このバトンを活用して、緊急時だけでなく、平時から近隣同士で気にかけて合い、互いを見守る「互近助」の関係づくりをお手伝いします。命のバトンが配置されているか確認したり、地区をあげて取り組んでみたいとお考えの場合は、行政区に説明会に伺いますので、お気軽にご相談下さい。

九重町地域包括支援センター便り



出典：公益社団法人認知症の人と家族の会 世界アルツハイマー月間2023バナー

九重町地域包括支援センターでは、9月21日の「世界アルツハイマーデー」にあわせ、九重町役場玄関で認知症に関するパンフレットやポケットティッシュを配布しました。希望する方には「脳の健康度チェック」を行い、脳の健康を維持するためのポイントなどを説明しました。



また、「世界アルツハイマー月間」の9月の1ヶ月間、九重町図書館と野上公民館で、認知症関連の書籍等の展示・貸出を行いました。施設を利用された方が、展示物を見たり、書籍を手にしていました。



九重町図書館での展示

野上公民館での展示



●アルツハイマーとは認知症の一種で、脳の一部分が縮んでいくことにより、もの忘れなどが生じる病気のことです。初期の段階で治療を開始すれば、症状が軽いうちに進行が緩やかになります。

《 介護予防・認知症・権利擁護に関するご相談は 》

九重町地域包括支援センター 電話:0973-76-3863 FAX:0973-76-3835

九重町老人クラブ連合会 女性リーダー研修会

9月6日に九重町老人クラブ連合会女性リーダー研修会が九重町保健福祉センター視聴覚室にて開催されました。

今年度は大分県金融広報アドバイザー・行政書士の大本治郎さんを講師にお招きし『高齢社会のお金とくらしと健康づくり』と題してお話をいただきました。

「人生100年時代を迎えた現在、健康は自らづくり、規則正しい生活を心がけ、からだに良いこと、悪いことを見極めましょう。また、認知症にならないように第一のヒントは、明るい服を着て街に出掛けましょう」との内容でした。

今回学んだことを活かし、健康寿命を延ばしましょう。



九重町老身親善交流 ゲートボール大会

10月4日に爽やかな秋晴れの下、第39回老身親善交流ゲートボール大会が野上ゲートボール場で開催されました。

ゲートボール愛好の九重町身体障がい者福祉協会会員と九重町老人クラブ連合会会員の46名の皆さんが優勝を目指し、8チームで競いました。

その結果、見事優勝杯を手に取めたのは一年間の休会を経て復活を果たした右田長寿会チームの皆さんでした。

成績は次の通りです。

- 優勝 右田長寿会チーム
- 準優勝 後河内長寿会チーム
- 第3位 飯田Aチーム
(湯坪長寿会)



優勝した右田長寿会チームのみなさんおめでとうございます！

ご活用ください！ レク備品貸し出します！

備品No.15 環境カルタ

環境問題は我々の生活のすべてに関連し、すべてに影響を与えているといえます。環境が悪化すれば、この地球の中で人類は勿論、植物も動物もあらゆる生物が生きて行けなくなるのではないかという不安がふくらんでいます。



カルタ遊びを通じて、ゲーム感覚で環境について考えてみましょう。

九重町社会福祉協議会ではほかに【たいこ相撲】【計算ドリル】【ペタンク】【十二支ビンゴ】など、全部で32種類の備品を貸し出しています。

対象は町内の団体等、貸出期間は2週間、料金は無料です。

詳しくは、九重町社会福祉協議会までお問い合わせください。(☎76-2500)

シリーズ 町の幸齢者さん



九重町で90歳を過ぎて生き生きと暮らしている高齢者の方=幸齢者の方に元気の秘訣をお伺いします。



NO.26 飯田 無田中一
衛藤 秀子さん(94歳)

Q.元気の秘訣はなんですか？
A.老人会やサロンに行っておしゃべりをして楽しんでいます。

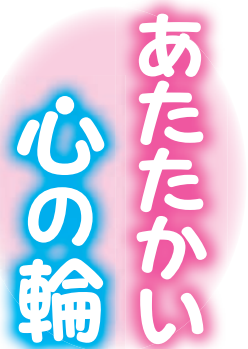
Q.楽しみは何ですか？
A.孫やひ孫が帰って来て、なついてくれます。逢うのが楽しみです。

Q.これからの目標を教えてください
A.自宅で家族と一緒に暮らすことができ、一緒に歳を重ねていけたら幸せです。

「幸齢者さん」の情報は、九重町社会福祉協議会(76-2500)までお電話を！自薦・他薦は問いません！お待ちしております！

- ▽七月
 - ・金一封 亡母アキエ
 - ・菅原本村 吉光真由美様
 - ・三万円也 亡母 和子
 - ・書曲一 迫 正直様
 - ・五万円也 亡夫 和則
 - ・湯坪下 赤峰宗子様
 - ・三万円也 亡母エノエ
 - ・相狭間 佐藤睦弘様
 - ・金一封 亡母 敏江
 - 川上二 長野英雄様
- ▽八月
 - ・三万円也 亡兄高橋貞一
 - ・川上二 富永加代子様
 - ・三万円也 亡母モミエ
 - ・富迫上 矢野文憲様
 - ・二万円也 亡父 孝徳
 - ・川東上 財津孝彦様
 - ・五万円也 亡母サツキ
 - ・北方下 時松龍廣様
 - ・三万円也 亡母アイ子
 - ・尾本 小野高行様
 - ・三万円也 亡母 朝子
 - ・北恵良二 今永克明様
 - ・金一封 亡夫 正平
 - ・中村 田吹和子様
 - ・金一封 亡母千代香
 - ・桐木四 松岡信行様

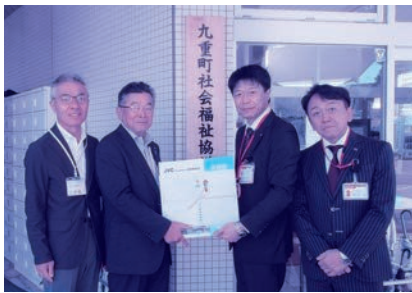
◎香典返し(二十一件)



- ▽九月
 - ・三万円也 亡父 弘洋
 - ・滝上 佐藤 博様
 - ・三万円也 亡母喜久代
 - ・川西三 小野博美様
- ▽十月
 - ・三万円也 亡母 綾子
 - ・後辻 高倉博明様
 - ・二万円也 亡母 安子
 - ・京都府 入部道徳様
 - ・三万円也 亡父梅木右二
 - ・京都府 河田直美様
 - ・金一封 亡父 睦生
 - ・筋湯 甲斐国義様
 - ・三万円 亡夫 秀夫
 - ・下尾本 宇佐治美様
 - ・五万円 亡母マサ子
 - ・川下北 佐藤栄一様

◎特別寄付(二件)

- ・三万五千五百五十二円也
- ・ふるさとの環境を考える会様
- ・一万五千円也
- ・浄土真宗本願寺派珠組様



郵便局よりポータブル電源をいただきました

- ◎物品寄付(六件)
- ・お米60キロ 森 唐汪様
- ・奥郷 赤峰勝也様
- ・お米 湯坪下
- ・ポータブル電源 九州郵便局長協会
- ・大分西部地区玖珠部会様
- ・お米10キロ 中村 佐藤陽子様
- ・玄米116キロ JAおおいの西部エリア
- ・営農経済センター様
- ・さつまいも50キロ 鹿伏 田邊万壽夫様

ありがとうございます。

令和五年七月〜令和五年十月までの間に次の方々から社協へ香典返し等数々のご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。ご寄付のご厚志は社会福祉の推進のため、有意義に活用させていただきます。

ご寄付いただいた方々にご了承いただき、お名前や金額等を掲載してまいります。(ご希望により省略する場合があります。(受付順・敬称略))

フードドライブ「もったいないをありがとうに！」

フードドライブとは、家庭で余っている賞味期限の切れていない食品を地域や社会に役立てるために寄付する活動や行動です。

☆ご寄贈いただきたい食品例

- ・穀物(お米、麺類、小麦粉等)
- ・インスタント食品
- ・レトルト食品
- ・保存食品(缶詰、瓶詰)
- ・飲料(ジュース等)
- ・乾物(海苔、春雨等)

☆お預かりできない食品

- ・お米は精米して2ヶ月以上経ったお米や、1年以上経った玄米はお預かりできません
- ・賞味期限が記載されていない食品、賞味期限が近い食品(1ヶ月未満のもの)
- ・開封された食品

開催期間：11月17日(金)～12月28日(木)

実施場所：九重町社会福祉協議会 ☎76-2500



ご寄贈いただいた食品は、地域食堂や食にお困りを抱えている方々へ提供させていただきます。

季節の植物

【キツネノカミソリ】

佐藤 三千代 みちしろ

原野や山麓に生える多年性草木で、春ラッキョウに似た鱗茎から葉を出す。この葉がやや広い線形でやわらかくカミソリに似ているのでこの名があるのでしょう。夏の末頃、葉が枯れ鱗茎から赤緑色の茎から30〜40cmのやわらかい花茎を出し橙色の花をつけ、群生することが多い。深山にあまり生育していないことから古代中国から渡来したという説があります。よく似たヒガンバナ（曼殊沙華）の仲間、この仲間はリコリンというアルカロイドを含む有毒植物です。しかし救荒植物として粉にして食べたり、又、粉にしたもので、あかぎれの治療や漢方にも少し用いられたようです。やや暗い色で少し陰気な人気のない花です。葉が枯れるときなり花茎を伸ばし花をつけるので「きつねばな」、またラッキョウに似た鱗茎を間違えて食べると中毒を起すことから「毒花」とも呼ばれたようです。放牧牛もキツネノカミソリの多い野原を嫌ったそうです。



カミソリは、キツネノカミソリより大型で花弁の長さは9cm位で少し反り返り、雄しべは花弁より長く突き出す。やや冷涼な林で普通のキツネノカミソリに比べ少し早いころ、時々見かけられます。鹿の害がひどく絶滅状態です。学名は牧野富太郎博士が名付けた *Lycoris radiata* (リコリスキウシアーナ丸州産の意) です。

今月のちよつと言

さわやかな季節に気持ち良く毎日を過ごせています。でも今、社会問題になっている事の一つに人格の尊重があり、いじめ問題もあげられます。上下関係が生まれるとどうしても上からの目線で押し付けや暴力などが生じてしまいます。意見も言えずじっと我慢を強いられている人達の人格は踏みにじられています。何ともやり切れない気持ちです。人は皆平等で社会の中で共に生きていけるはずです。お互いを認め合える地域であって欲しいと感じています。

住み慣れた場所で自分だけではなく周りの人のしあわせも願いながら健康に気を付けてボランティア活動を続け、元気の基である食事もしっかりと摂り、健康寿命を伸ばし楽しくゆっくりとした生活を送りたいです。そうすると思いやりやさしさができ繋がっていくような気がします。

N・K

オレンジフェスタ -2023-

認知症の人も家族も、そうでない人も。支え合い、ともに生きる社会へ。

- 日時 令和5年12月16日(土) 午後1時20分(開場は12:30)
- 場所 九重文化センター大ホール
 - *入場は無料ですが、整理券が必要です(先着200名)
- 内容
 - ・講演
 - *講師は、認知症本人大使「大分県希望大使」下田哲也さんを予定しています
 - ・映画「オレンジ・ランプ」上映
 - *39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとにした映画です。
- 整理券配布場所 役場健康福祉課・社会福祉協議会 各地区公民館

《 お問い合わせ 》

- 役場健康福祉課 76-3821
- 地域包括支援センター 76-3863